

様式第 6 号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和 6 年 5 月 2 9 日

宮崎市長 清山 知憲 殿

申 請 者 の 住 所 宮崎市大字島之内 7 4 1 0 - 1
申 請 者 の 団 体 名 住吉地域まちづくり推進委員会
及び代表者の氏名 会 長 尾崎 浩一朗
電 話 番 号 0 9 8 5 - 3 9 - 7 0 0 4

令和 6 年 3 月 2 9 日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第 1 9 条 1 項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

(イ) 事業実施報告書

(ロ) 収支決算書

(ハ) 事業別収支計算書

(二) 積立金管理状況報告書

(ホ) 繰越届出書

(ヘ) 備品管理台帳

(ト) 地域協議会の意見書（事業実施報告書に記入）

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

住吉地域自治区

住吉地域まちづくり推進委員会

1 総括

今年度は住吉地域まちづくり推進委員会も設立15年目になった。コロナ感染症が5類に移行になり、すべての事業が再開出来た。中には再復活した事業もあり、20事業を5部会と事務局で実施した。その中でも住吉夏まつり事業は3年間中止後、冬季開催を経た後に恒例の夏季開催が実施出来て大盛況であった。他にも、子育てフェスタには多くの参加者があったが盛夏の開催であり今後は開催時期の見直しが必要である。住吉地区伝統芸能保存会（俵踊りと奴踊り）はさらに活動が広がり、地域外でも披露することができている。健康体操が通常通り実施出来、地域住民の健康に役立っている。リレーマラソンは今年度も好評で楽しまれていた。美しい里づくり事業の招魂山整備には多くのボランティアが参加され、中学生も多数参加した。「すみよしイルミネーション2023」は電飾を増やし映えスポットはさらに人気が増したようだった。

一方、災害時救援物資整備事業では、必要性の高い簡易トイレと消耗品を追加購入して3年間の事業を終了した。米穂夢事業も米作りを通じて福祉へつないでいく目標は達成し、事業として必要性は薄まったので今年度で終了する。また、学校連携事業は市教育委員会の要請で、まちづくり推進委員会が学校から地域への要請の窓口になってきたが負担が大きき今後調整が必要である。

今後も「安心安全なまちづくり」・「ずっと ずっと 住み続けたいまち 住吉」を目指していきたい。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	差	備 考
地域コミュニティ活動交付金	4,455,000	4,455,000	0	
災害時積立金取り崩し	217,814	217,815	1	
繰越金	1,263,612	1,263,612	0	
雑収入	574	29	▲545	
合 計	5,937,000	5,936,456	▲544	

(2) 支出の部

分野	事 業 名	実施年数	予 算	決 算	差	備 考
防	地域安全見守り隊事業	14年目	633,000	536,835	▲96,165	ガソリン代節約
防	地域防災訓練事業	15年目	50,000	3,540	▲46,460	各自治会防災訓練支出無
防	災害復旧活動支援事業	10年目	40,000	38,924	▲1,076	
防	災害時救援物資整備事業	3年目	217,000	214,050	▲2,950	
福	子育て支援事業	15年目	208,000	173,163	▲34,837	材料代節約
福	住吉ささえ愛事業	10年目	54,000	49,744	▲4,256	
再	すみよしイルミネーション事業	4年目	218,000	172,212	▲45,788	
福	高齢者を支える生活支援事業 NPO法人住吉つなぎ相愛との共催事業	3年目	480,000	457,424	▲22,576	ガソリン・消耗品代節約
環	美しい里づくり事業	13年目	127,000	24,998	▲102,002	消耗品支出節約
環	花いっぱい事業	8年目	730,000	697,469	▲32,531	土・花苗支出なし
教	米穂夢事業	7年目	201,000	128,651	▲72,349	消耗品代節約
教	互いに認め合い支え合う社会づくり事業	15年目	35,000	1,600	▲33,400	謝礼なし・チラシ代節約
教	地域と学校の連携事業	5年目	165,000	79,689	▲85,311	各学校支出縮小
伝	住吉のたからもの発掘事業	5年目	85,000	25,130	▲59,870	消耗品支出節約
再	住吉夏まつり事業	14年目	629,000	534,476	▲94,524	消耗品支出節約
再	健康づくり事業	14年目	88,000	51,137	▲36,863	チラシ代節約
健	元気で笑顔いっぱい事業	11年目	92,000	74,602	▲17,398	
福	情報発信事業	15年目	347,000	345,101	▲1,899	
再	広報誌発行事業	15年目	511,000	434,088	▲76,912	ページ数縮小
他	まちづくり推進事業	13年目	1,027,000	941,877	▲85,123	報償費支出なし
繰 越 金			0	951,746	951,746	
計			5,937,000	5,936,456	▲544	

3 実施報告

〔1〕防犯・防災に係る事業

事業名	地域安全見守り隊事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 “みんなが安全安心に暮らせるまち” ◎事故や事件がない安全な住吉 地域住民が防犯意識を持ち、子どもの見守りを通して安全安心なまちづくりに努めます。														
目的 (期待される効果)	「地域の子どもは地域で守り育てる」ことを基本とし、登下校時の安全を確保するとともに地域の安心安全なまちづくりを目指す。														
事業内容・手段	(1) 子ども見守り隊研修、青パト講習会の実施。同時に情報交換を行う ・子ども見守り隊（6月15日）と青パト隊（6月26日）、講習会を分けて開催した。 (2) 地域と子ども見守り活動 ・JR住吉駅で下校指導を実施した（4月10日） ・青パト隊は夏休み期間中も巡回できた。 ・青パト隊に合流した元青少年指導員の青パト隊は夜間に青パトを使用して巡回した ・登下校の見守り活動も連日実施していただいた。 (3) 住吉南小との対面式 5月22日図書室及び教室とのリモート対面式で実施した。 (4) 通学路の点検 ・青パト巡回時に点検を実施 (5) 青パト関係者や見守り隊員の保険加入を実施した														
事業費	536,835 円														
対象者	地域住民、小中高校生														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>2,400人</td><td>2,370人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>370人</td><td>295人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,770人</td><td>2,665人</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	2,400人	2,370人	スタッフ	370人	295人	合 計	2,770人	2,665人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	2,400人	2,370人													
スタッフ	370人	295人													
合 計	2,770人	2,665人													
住民の声（アンケートの結果等）	・下校時に手を振ってくれる子供や、大きな声で挨拶も返してくれる（青パト隊員） ・集団登校時の班長さんがしっかりしている。挨拶もきちんと出来ている。（見守り隊） ・上級生は下級生をよく気遣っている（見守り隊）														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	子ども達の登下校時を見守ることで防犯対策にもなっているために必要	広報	⑤事業の周知	A	A	「まちづくりだより」や部会でも呼び掛けている まちづくりの公式SNSのQRコードを印刷したカード裏面にも
	②住民の参加	B	B	高齢化のため辞めていく人も出てきているので、もう少し人員を増やしたい 引き続き呼びかけいきたい	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	長期休業中は時間を変更など工夫しながら実施している
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	「地域の子どもは地域で守る」を基本に数多くの人で各団体と協力して取り組む事業は妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	地域住民は、登下校時の見守り活動や青パトの巡回に必要性をみんな感じている。
	④各種団体との連携	A	A	青パト隊員募集については自治会連合会、PTAにもお願いしている	事業継続の必要性			㊦ ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 今年度も青パトの講習会と見守り隊の講習会を分けて実施した。 講習会では参加者の意見交換も出来て学校や交番等とのやりとりも出来ている 見守り状況や危険個所などの情報が得られて良かった。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済

防犯・防災に係る事業

事業名	地域防災訓練事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが安心安全に暮らせるまち” ◎災害に強い安心できる住吉 地域住民が災害に対して防災減災意識を持ち、災害に対応できるまちづくりに努めます。														
目的 (期待される効果)	自然災害に対する為の防災訓練を実施する。														
事業内容・手段	(1) 各自治会の防災訓練支援及び各種団体と協力して防災訓練実施 (12月10日) すみよし公園 ・住吉地区自主防災連合隊(住吉地区自治会連合会)・消防団と共催で住吉地区総合防災訓練を実施した。 各自治会から防災資機材を持ち寄り点検した。 ハイゼックス(炊飯袋)で無洗米を炊いた。 (2) 南海トラフ地震が予想される中、防災意識を高める研修会を行う ・まちづくり推進事業の視察研修時に熊本市西原町で地元の講師による防災についての話を聞いた。 (1月20日) 熊本市西原町														
事業費	3,540円														
対象者	地域住民・自主防災隊(自治会)														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>102人</td><td>88人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>31人</td><td>26人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>133人</td><td>114人</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	102人	88人	スタッフ	31人	26人	合 計	133人	114人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	102人	88人													
スタッフ	31人	26人													
合 計	133人	114人													
住民の声(アンケートの結果等)	・住吉地区総合防災訓練は防災竈を使用してハイゼックスで無洗米を炊いた。初めて体験する人がほとんどで、今後は各自治会での防災訓練に役立つと思う ・熊本での講演会は震災と避難所開設の経験がある地元の方が講師だった。改めて飲料水や食料の大切さを痛感した。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	近年毎年のように各地で災害が発生しているなかで、地域住民の危機意識も高くなっている。	広報	⑤事業の周知	A	B	総合防災訓練は自治会連合会を通して各自治会長及び自治会員に周知した
	②住民の参加	A	A	住吉地区総合防災訓練は消防団も参加して自治会長や地域住民が参加された。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	さらに多くの地域住民に呼びかけて実態に合った訓練の計画をしたい
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会連合会と共催事業で、まちづくり倉庫の資機材を披露して各自治会の資機材の点検もした。		⑦住民の満足度	A	A	訓練には自治会長や自治会員が参加されたので今後の単位自治会の訓練に生かせる。
	④各種団体との連携	A	A	自治会連合会・消防団住吉分団との連携による防災訓練が実施できた。防災士も参加した	事業継続の必要性			㊦ ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 総合防災訓練を自治会連合会・消防団住吉分団と共催で実施することができた。 自治会長や住民に防災かまどでハイゼックを使って無洗米を炊いた。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和5年5月・実施報告）＞ 地域の防災・減災の意識向上に向け、地域団体と連携した地域防災ネットワーク作りに繋がる事を期待します。 また、地域住民が参加できる体制の構築や、周知活動の充実もお願いします。 併せて、保有している資機材の操作方法や利活用方法の普及活動にも努めてください。 ＜意見への対応＞ 防災ネットワークについては完全ではないが研修を行ってきた。話し合いや机上訓練の段階ではなく地域住民を巻き込んだ訓練が必要な状況です。来年度は住民全体が参加できる事業を計画しています。 資機材等の操作については随時行っています。						対応	未 ・ ㊦

防犯・防災に係る事業

事業名	災害復旧活動支援事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが安心安全に暮らせるまち” ◎災害に強い安心できる住吉 地域住民が災害に対して防災減災意識を持ち、災害に対応できるまちづくりに努めます。														
目的 (期待される効果)	いつ起こるかわからない災害に対して飲料水等の災害時緊急物資の備蓄を行う。														
事業内容・手段	(1) 非常物資の計画的備蓄 ・5年保存飲料水の購入は中止。保存期限が近いものは、防災訓練に使用し各種団体にも配布した。 現在の備蓄数 1,632本(500ml) ・炊き出し用ハイゼックス袋の備蓄(1,000枚/年) 1,000枚購入した。現在の備蓄数4,920枚 ・保存食料の購入 長期保存できるパンと羊羹を購入した。														
事業費	38,924円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>スタッフ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td></td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者			スタッフ			合 計		
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者															
スタッフ															
合 計															
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	南海トラフ巨大地震の問題や最近の各地での多大な災害状況から非常時に備える意識は高まっている。	広報	⑤事業の周知	A	B	広報誌住吉まちづくりだよりで周知
	②住民の参加			この事業は計画的な備蓄であり、住民の参加はない。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B	住吉地区の各種団体とさらに協議しながら必要な備蓄品を揃えていく
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	妥当である。地域住民のあらゆる世代に合う食料品や衛生用品などを考慮し備蓄したい。		⑦住民の満足度	B	B	非常の際に役に立つよう、計画的な備蓄をしていく。短期間が対象なので量は多くないが種類を揃えるようにしている
	④各種団体との連携	A	A	地域センター、消防団と備蓄品等の共有をし、必要な備蓄品の参考にした。		事業継続の必要性			④有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 賞味期限が迫った飲料水は総合防災訓練等に使用し、ひなたの会にも利用してもらった。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	
	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	

事業名	災害時救援物資整備事業		実施年数	3年目
事業期間	開始：令和3年度		終了：令和5年	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが安心安全に暮らせるまち” ◎災害に強い安心できる住吉 地域住民が災害に対して防災減災意識を持ち、災害に対応できるまちづくりに努めます。			
目的 (期待される効果)	地震や台風などの大規模自然災害発生時に“命をまもる”ために必要な資材を配備するとともに避難所での生活に緊急に必要な物資を揃えて災害に備える。			
事業内容・手段	避難所生活で必要となる緊急物資の整備。 ・3年計画の事業で災害時に使用する簡易式トイレ及び凝固剤等の消耗品を購入した。 物資の保管場所は住吉地域まちづくり推進委員会の防災倉庫を基本として維持管理するものとする。			
事業費	214,050 円			
対象者	地域住民			
参加者数 (内訳)	年 度	令和5年度	令和4年度	
	一般参加者			
	スタッフ			
	合 計			
住民の声（アンケートの結果等）				

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	災害に対する意識は高まっている。食料、資材等計画的に整備している。		広報	⑤事業の周知	A	A	まちづくりだより等で周知を行っている。
	②住民の参加	B	B	広く住民に周知する手段を検討したい。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	消防団や防災士等の意見を参考にして、必要性の高い簡易式トイレを購入した
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域のまちづくりの中核としての存在から妥当である。			⑦住民の満足度	B	B	防災倉庫備蓄機材は広報していく。単位自治会の活動にも日頃から利用してもらい、災害時の円滑な活動に生かす。
	④各種団体との連携	A	A	地域内の各種団体や地域センター、防災士と連携を更に深めていく。		事業継続の必要性			㊦ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 積立金を取り崩して購入する機材は最終年度で、昨年も購入した簡易式トイレを追加した。選定には地域センターをはじめ消防局、地域消防団、防災士等の意見を聴いて配備した。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未 済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未 ・ 済

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	子育て支援事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが元気でお互いを支え合うまち” ◎女性や若者が生き活きと活動する住吉 地域住民みんなで安心して子育てができる環境づくりに努めます。														
目的 (期待される効果)	住吉で安心して子育てが出来る環境づくりを目指し、未就学児親子の支援とともに、幅広い世代の交流を通じて地域の子ども達を育む。														
事業内容・手段	「すみよし子育てフェスタ2023」 ○7月23日（日） 住吉公民館前駐車場及び公民館洋室と和室で実施した。 乳幼児や小学生を対象とした「すみよし子育てフェスタ2023」を実施した。 赤ちゃんハイハイ競争、読み聞かせ、小学生向けスタンプラリー、かき氷など実施した。														
事業費	173,163 円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>404名</td><td>120名</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>23名</td><td>10名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>427名</td><td>130名</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	404名	120名	スタッフ	23名	10名	合 計	427名	130名
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	404名	120名													
スタッフ	23名	10名													
合 計	427名	130名													
住民の声（アンケートの結果等）	・昨年とは変更して単独で開催されたので、会場にゆとりがあった。スタンプラリーは好評で楽しんで参加出来た。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	子育て世代の方が多く参加され、子供たちのゲームや親子相談などニーズは高い	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会への班回覧 PTAへの呼びかけ
	②住民の参加	A	A	参加者は多かった。大人も子供も楽しんでいた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	暑さ対策のため次回開催からは時期をずらしたい
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	妥当性あり。		⑦住民の満足度	A	A	満足度は高い
	④各種団体との連携	A	A	PTAや自治会の他、中学生ボランティアとも連携ができた。	事業継続の必要性				⑦有 ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 今年度は単独で開催したので参加者は多かった。近年の夏の暑さは異常なものが有り、次回開催は時期をずらしたい。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済
		<意見への対応>							

地域福祉に係る事業

事業名	住吉ささえ愛事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが元気でお互いを支え合うまち” ◎子どもや高齢者を大切にする住吉 高齢者が安心して暮らせるまちづくりに努めます。														
目的 (期待される効果)	高齢者等が日々安心して暮らせるよう、地域で支え合い、絆を深めていくことを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 高齢者対象のスマホ操作教室 ・昨年に引き続き2回目を実施した。(10月28日) (2) 福祉まつりは福祉のひろばと改名して文化祭と同時開催した。 ふれあい展示コーナーをはじめ、住吉地区社会協議会コーナーやつなぎの小物販売などが実施された。(11月11日)														
事業費	49,744円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>80名</td><td>63名</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>7名</td><td>11名</td></tr><tr><td>合計</td><td>87名</td><td>74名</td></tr></table> 令和5年度参加者数は「スマホ教室」「福祉のひろば」の人数			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	80名	63名	スタッフ	7名	11名	合計	87名	74名
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	80名	63名													
スタッフ	7名	11名													
合計	87名	74名													
住民の声（アンケートの結果等）	・「スマホ教室」は今回も好評だった。次回は募集対象も広げて開催して欲しい。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	「スマホ教室」は好評だった。問い合わせも多かった。 「福祉のひろば」も賑わった	広報	⑤ 事業の周知	A	A	自治会連合会班回覧及びインスタ、公式LINE等で周知
	② 住民の参加	A	A	「スマホ教室」についてはさらに参加者が増えそうで、定期的に実施する可能性もある。	事業の効果	⑥ 課題解決への作用	A	A	「スマホ教室」は個々の機種の観点から、工夫に必要性が感じられる
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	高齢者が待ち望んだ講座であり充分妥当性がある。		⑦ 住民の満足度	A	A	「スマホ教室」は満足度が高い 毎年開催したい
	④ 各種団体との連携	B		自治会回覧文書で周知依頼した。 各地区自治会員の方々が参加をされた。	事業継続の必要性				⑦ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 「高齢者向けのスマホ教室」、参加者の満足度は高く、身近なものになってきている。 継続して続けたい。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済

地域再生に係る事業

事業名	すみよしイルミネーション事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが元気でお互いを支え合うまち”														
目的 (期待される効果)	地域の結びつきや交流を深め、やさしさや思いやりの心を育む														
事業内容・手段	「すみよしイルミネーション2023」の開催 ・会場 住吉公民館 ・開催期間 令和5年12月～令和6年2月初旬 ○毎年恒例になり今回はさらに社協の駐車場付近に「映えスポット」を作りとても評判が良かった。 点灯式では米穂夢で収穫したお米を配布した。 また、電飾の設置や撤去作業はPTAの皆さんの協力を得た。 今年度から募集した中学生のボランティアも9人参加した。														
事業費	172,212 円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>23人</td><td>14人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>10人</td><td>23人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>33人</td><td>37人</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	23人	14人	スタッフ	10人	23人	合 計	33人	37人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	23人	14人													
スタッフ	10人	23人													
合 計	33人	37人													
住民の声（アンケートの結果等）	昨年までのイルミネーションに加えて新しいスポットが好評だった														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	「地域住民の気持ちを明るく前向きにする」目標は住民の気持ちを良く捉えている。	広報	⑤ 事業の周知	A	A	ポスター、自治会の班に回覧、インスタ等で周知
	② 住民の参加	A	A	恒例化しつつあり多くの住民に親しまれている。	事業の効果	⑥ 課題解決への作用	A	A	
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の方々に毎年のイベントとして認知が高まっている、妥当性はある		⑦ 住民の満足度	A	A	新しい電飾が増えて満足度も高まっている。
	④ 各種団体との連携	A	A	設置作業では住吉三校のPTA役員の方々や中学生ボランティアにも参加してもらった。		事業継続の必要性			有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 工夫を凝らした電飾を増やし、多くの地域住民からも好評を得ている。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済

地域教育に係る事業

事業名	高齢者等を支える生活支援事業 NPO 法人 住吉つなぎ相愛 との共催事業	実施年数	3 年目												
事業期間	開始：令和 3 年度	終了：													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが元気でお互いを支え合うまち” ◎子供や高齢者等を大切にする住吉 高齢者が安心して暮らせる支援体制充実しよう														
目的 (期待される効果)	住民同士が「お互いさま」の心で支え合い、日常生活の支援を行うと共に子供を含む若い世代も健やかに育っているよう、関係機関と連携し安心して暮らせるあたたかい地域づくりを目指す。														
事業内容・手段	高齢者等の生活支援を NPO 法人「住吉つなぎ相愛」と共催事業として行う。 ・まちづくり推進委員会と「つなぎ」で月例会を実施した。 ① つなぎ事務所にて依頼を受付、訪問調査を行い支援を行った。 ・話し相手 39 件 ・部屋掃除 56 件・庭掃除 65 件・除草剤散布 20 件 ・買い物代行 95 件・付き添い 5 件・ゴミ出し 47 件 ・墓掃除代行 2 件 ・その他 2 件 合計 331 件 訪問調査 25 件 ② つなぎコール 安否確認・孤立に繋がらないように対象者へつなぎ事務所から電話で話し相手になる。 ・毎週水・木曜日 10:00～11:00、対象者 2 名 延べ 46 名へ実施														
事業費	457,424 円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和 5 年度</td><td>令和 4 年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>5 4 1 人</td><td>5 5 6 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>5 4 1 人</td><td>5 5 6 人</td></tr></table>			年 度	令和 5 年度	令和 4 年度	一般参加者			スタッフ	5 4 1 人	5 5 6 人	合 計	5 4 1 人	5 5 6 人
年 度	令和 5 年度	令和 4 年度													
一般参加者															
スタッフ	5 4 1 人	5 5 6 人													
合 計	5 4 1 人	5 5 6 人													
住民の声（アンケートの結果等）	・住み慣れた自宅で安心して生活出来ます。 ・支援してくださる方も高齢者が多いように思います。若い人が増えると安心です。 ・作業が終わった後の雑談も楽しいな時間になっています。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	高齢者や共働き家庭の増加でニーズは高い 無くてはならないとされています		広報	⑤事業の周知	A	B	「つなぎ」は独自でパンフレットを作成。まちづくりだよりやインスタ、ブログにも随時掲載
	③住民の参加	B	B	この事業への認知度は低く、一般の住民参加はない		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B	継続的な利用者の声などを広報して行く事も事業認知と依頼者増加に繋がる
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	共催事業として実施しているが、地域住民のニーズにこたえるためにも妥当			⑦住民の満足度	A	A	サービスを受けた住民は大いに満足している。
	④各種団体との連携	A	B	広報活動と協力依頼を含めて連携を含め深めていかなければならない。		事業継続の必要性			⑦・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 連携事業によりまちづくり推進委員会の事業の幅が膨らんだ。「つなぎ」の方もまちづくり推進委員会の事業として広報してもらいたい。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済

[3] 環境に係る事業

事業名	美しい里づくり事業	実施年数	13年目(令和2・3年度休止)
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 “みんなが四季を楽しめる心豊かなまち” ◎心に残る風景に満ちた住吉 地域住民が四季を楽しめる自然豊かな里山づくりを進める。		
目的 (期待される効果)	地域の豊かな自然環境を守り、美しい里山づくりを目指す		
事業内容・手段	1. 今年度は専門の業者には依頼しなかった。 ・12月に草刈り作業を実施した。参加者募集したところ一般参加者やPTAから25名、中学生から52名、スタッフ含め総勢82名参加で実施した。(12月10日) ・令和6年度は草刈りをシルバー人材センター等も利用して整備していく予定である。 2. 小学校に呼び掛けて児童が登る機会を増やしてもらう。 草刈りには住吉小学校の校長先生も参加された。呼びかけに繋がると期待できる。 3. 自然を生かした取り組みを計画する。 ・元旦には初日の出を見ようと地域住民有志で山頂に登った		
事業費	24,998 円		
対象者	地域住民、小学生、中学生		
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見(令和 年 月・)> <意見への対応>	対応	未・済
	<地域協議会からの意見(令和 年 月・)> <意見への対応>	対応	未・済

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A		小学校や中学校で招魂山を認知されるようになり、子供たちをはじめ、教師にも関心をもっている。	広報	⑤事業の周知	A		インスタやブログで周知。	
	②住民の参加	B		地域の方々も整備に参加していただいている。	事業の効果	⑥課題解決への作用	B		招魂山は整備も利用も継続的に取り組めるよう計画したい	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		地区住民には大変好評であり妥当な取り組みである。		⑦住民の満足度	A			近隣の住民の方や小中学校の皆さんの関心が高く満足している
	④各種団体との連携	A		近隣自治会、PTA、中学校の生徒などと連携	事業継続の必要性				⑦ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 今年度は自治会やPTAや住吉中学校の生徒による草刈作業により、清掃後は大変きれいになった。維持できるように定期的及び必要に応じて、清掃作業を実施していきたい。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未 ・ 済
		<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業計画）> 市の所有する土地を利用する際は、使用許可を受け、安全な事業実施に努めてください。 <意見への対応> 使用許可申請書を提出し事前に許可を受けている。							対応	未 ・ 済

[3] 環境に係る事業

事業名	花いっぱい事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成28年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが四季を楽しめる心豊かなまち” ◎花と緑にあふれる住吉 地域住民や子供達が心豊かに生活できるよう花のあふれる緑豊かなまちづくりを推進しよう。														
目的 (期待される効果)	住民が集う広場や通学路を花いっぱいにして美しいまちづくりを目指すことを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 花いっぱい運動 ・小学校（住吉小・住吉南小）との連携は出来なかった。今年度は土地改良区の協力を得て整地・コスモスの種撒きを実施した。 ○トラクター整地とコスモスの種まき 新名爪新里会 8月26日 西島之内水土里会 8月27日 広原地区 8月27日 元村せせらぎ会 9月 7日 ○地域の空き地利用は、広原地区でコスモス植栽の支援を実施した。 8月27日 ・花のまちづくり会員によるすみよし公園の花の植栽 ボランティアの方を含めて会員を3グループに分け3週間置きに、除草・花がら摘み・水かけを行っている														
事業費	697,469 円														
対象者	地域住民、小学校児童														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>52人</td><td>291人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>158人</td><td>72人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>210人</td><td>363人</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	52人	291人	スタッフ	158人	72人	合 計	210人	363人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	52人	291人													
スタッフ	158人	72人													
合 計	210人	363人													
住民の声（アンケートの結果等）	・すみよし公園花壇の植栽にボランティア募集をしている。親子で5～6組の方が参加され、花のまちづくり推進協議会の会員と一緒に和気あいあいと植栽を経験されています。 ・ボランティアの方が丁寧な花の手入れをされていて、いつもきれいな花が楽しめます。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各地域でもコスモスを見かける。季節の花として地域住民にも認識されている。		広報	⑤事業の周知	A	A	開花時には「花いっぱい事業」の看板を立てている
	②住民の参加	B	A	各地域の土地改良区の方々と花のまちづくり推進協議会の方々にお願いした。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	天候や人員の関係で日程が変更され、種まき参加が難しい。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地区住民には大変好評であり妥当な取り組みである。				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	土地改良区や小学校、花のまちづくり推進協議会と連携。		事業継続の必要性				⑦ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 今年度は元村地区、新名爪地区、西島之内地区とも土地改良区等の方々の応援に頼り、きれいな開花を楽しめた。広原地区は空き地を利用して種まきを実施し、見事な花を咲かせた。 小学生とは連携が難しかった。授業とは関係なく休日を利用した参加を検討したい。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	

地域教育に係る事業

事業名	米穂夢事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：令和5年度													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち” ◎地域の産業や 食文化を大切にする住吉 食育を通して子どもたちの豊かな食文化への関心を育てるように進めます。														
目的 (期待される効果)	人口21,000人の農業地域であるわがまち住吉は、多くの教育施設のある地域です。少子高齢化が進展する中、地域の大人の「知恵」や「力」を借りて「米」作りを通して人と人との絆や多くの実践活動を体験することで、いのちをまもる、ふるさとをまもる、地域をまもることへとつなぎ、地域という大きな「輪」の中で子どもたちが生まれ、少子高齢化社会を迎える福祉へとつながれることを目的とします。 また、SDGsの持続可能な開発目標の一つである「飢餓をゼロに」には飢餓を終わらせ、持続可能な農業を促進することを目的に掲げており、本事業を通して、地域住民が飢餓問題に関心を持ち、持続可能な農業の促進につながることを期待します。														
事業内容・手段	(1)「米穂夢（まいほーむ）2023」の開催 ・田植えと稲刈りは天候不良のため児童の参加は取りやめ機械で実施した。 ・案山子づくりは幼児から中学生まで参加して同日に案山子立てまで実施した。 ○稲の種まき 5月20日 ○田植え 6月11日 ○案山子作り 7月29日 ○案山子立て 7月29日 ○稲刈り 10月4日 ○収穫祭 11月11日 ○住吉地区社会福祉協議会とひなたの会（子ども食堂）へ米を贈呈 10月16日														
事業費	128,651円														
対象者	地域住民・小中学生・幼稚園児・保育園児														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>210人</td><td>284人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>99人</td><td>156人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>309人</td><td>440人</td></tr></table>			年 度	令和5度	令和4年度	一般参加者	210人	284人	スタッフ	99人	156人	合 計	309人	440人
年 度	令和5度	令和4年度													
一般参加者	210人	284人													
スタッフ	99人	156人													
合 計	309人	440人													
住民の声（アンケートの結果等）	今年度も、収穫祭を住吉地区総合文化祭の中で実施した。神事後、住吉地区伝統芸能保存会の披露の後、見学された地域の皆さんに新米を配布した。昨年大変好評で数が不足したので今年度は2倍以上の数を配布した。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	収穫した新米を一人暮らしの高齢者等に配布し大変喜ばれている		広報	④事業の周知	A	A	学校、幼稚園、保育園などに案内文書発送しSNSでも呼びかけた。	
	⑤住民の参加	A	A	案山子作りは昨年に引き続き、幼児や小中学生、保護者の参加を得られた		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	田植え・稲刈りは多くの参加希望があったが天候不良により参加は出来なかった	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	取り組みは妥当である				⑦住民の満足度	A	A	収穫祭での新米配布はとても多くの方が集まり好評であった
	④各種団体との連携	A		新米の配布については、社会福祉協議会と連携		事業継続の必要性			有・ ☐		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 今年度は、田植え・稲刈り・案山子づくり等に多くの参加希望者があった。田植えと稲刈りは、天候に恵まれなかったのが残念だった。 現状では地域の小学校でも学習田が有り、授業の一環として田植えから収穫までの経験をする中で、食文化への関心が育まれていると思われる。一方で米穂夢のスタッフは農業従事者が多く農繁期と活動時期が重なり、無理な協力をお願いするような状況であった。このような実情を鑑みて米穂夢事業は終了することとした。									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未・済	
		<地域協議会からの意見（令和5年5月・実施報告）> 食育事業として食文化を考察できる事業内容となっています。 子ども達が稲作過程を体験できるなど、事業内容の更なる充実をお願いします。 <意見への対応> 学校でも米作りを体験しているが、田植えから収穫、そして収穫を喜び感謝し、福祉につなぐ一連の取り組みは伝統を大切につないでいく教育的な価値があります。							対応	未・ ☒	

[4] 地域教育に係る事業

事業名	互いに認め合い支え合う社会づくり事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：令和5年度													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが元気でお互いを支え合うまち” 重点目標 “女性や若者が生き活きと活動する住吉” 地域住民がお互いに認め合い思いやりに満ちている住吉にします。														
目的 (期待される効果)	お互いを認め合うための基本的人権の意識向上を目指す														
事業内容・手段	○男女共同参画に関する学習会の開催 住吉地区3校合同PTAと連携して学習会を行った。 開催日：令和5年6月28日（水） 演 題：「コロナ禍後において心を寄せて欲しいこと」 昨年のコロナ禍を受けてその後の注意点において講演会を行った。														
事業費	1,600円														
対象者	地域住民、住吉3校PTA														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>177名</td><td>23名</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>12名</td><td>8名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>189名</td><td>31名</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	177名	23名	スタッフ	12名	8名	合 計	189名	31名
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	177名	23名													
スタッフ	12名	8名													
合 計	189名	31名													
住民の声（アンケートの結果等）	コロナ禍後の体調や精神的な問題について、少し前向きになれた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	3校合同の講演会であった。PTAの参加者が多かった。		広報	⑥事業の周知	B	B	自治会への回覧文書での周知 インスタ、ブログ
	②住民の参加	B	B	PTA以外の一般の参加者は少なかった。		事業の効果	⑦課題解決への作用	B	B	講演会への対応が遅かった。早めの打ち合わせと三校PTA役員との調整が必要
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	C	PTAには好評であるが一般の地域住民には関心が薄い			⑧住民の満足度	B	C	一般の地域住民には満足度は低い
	④各種団体との連携	B	B	3校PTA		事業継続の必要性			有・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ コロナ禍後の問題について、三校合同で講演会を開催した。PTA以外の参加者の集客が難しい。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済
		＜地域協議会からの意見（令和5年3月・事業計画）＞ 現代社会において大切な事業であることから、地域住人が広く参加出来るよう工夫し、新たな取り組みを検討してください。 ＜意見への対応＞ 3校PTAの参加者がほとんどで地域住民の参加者は限られている。本来の3校合同の事業に戻し、まちづくり推進委員会の事業としては終了とする。							対応	未・ 済

事業名	地域と学校連携事業	実施年数	5年目（R1～R4 中止）												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち” 重点目標 “地域の人材を活かし育てる住吉”														
目的 (期待される効果)	地域と学校・PTAがお互いの連携を深め、子ども達が安心して健やかに育つ環境づくりを目指す。 小中学生が地域住民との交流を通じて住吉の良さを認識する。														
事業内容・手段	<1>住吉小学校 ○1年生のむかしの遊びを楽しもうでは、地域の方も参加して一緒に昔の遊びを体験した（1月16日） ○2年生はさつま芋苗の植栽・収穫を支援した（5月24日・10月24日） ○3年生の総合学習の時間「住吉地区の元気の秘密を探ろう」ではゲストティチャーとして体育館での全体説明、各クラスでの説明、まとめとして更に疑問点をピックアップして質問形式で対応した。（9月13日・10月12日・2月16日） ○住吉のお宝カレンダーは住吉小1年生から6年生までの作品をカレンダーにして地域に配布した。 <2>住吉南小学校 ○2年生の生活科の授業では「町たんけん」と称して消防団の仕事の内容見学で、消防団住吉分団第一部詰所と住吉南小とリモートで実施した。（10月13日） ○4年生の総合学習は防災に関する講話を行い、水防倉庫と防災倉庫の内容について説明をした。（2月16日） ○5年生の日平俵おどり復活プロジェクトメンバーの児童が伝統芸能保存会・日平俵踊りの練習日やイベント等にも参加している。 <3>住吉中学校 ○2年生の総合的な学習の時間 住吉の地域活性化プランとして各クラスをいくつかの班に分けて出されたアイディアについて、地域の協力者と共に授業に参加した。出されたアイディアをまとめた学級発表及び学年発表会にも参加した。														
事業費	79,689 円														
対象者	小中学生など地域住民														
	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>1, 896名</td><td>名</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>69名</td><td>名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1, 965名</td><td>名</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	1, 896名	名	スタッフ	69名	名	合 計	1, 965名	名
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	1, 896名	名													
スタッフ	69名	名													
合 計	1, 965名	名													

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A		学校側からまちづくりに期待されているものは多い ニーズは高い	広報	⑨ 事業の周知			
	②住民の参加	A		地域の様々な職種方々にも参加いただいた					学校側から求められるものが多くなって来ている。人材確保が必要である。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の魅力を小中学生に伝えられる。妥当な事業であるが事務局の負担は大きくなっている	事業の効果	⑩ 住民の満足度	A		学校側・生徒の要望には応えられるようにしている。
	④各種団体との連携	A	A	消防団・社会福祉協議会・公民館・地域センター等、協力をお願いして連携している。			事業継続の必要性		⑦ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ コロナ感染症も５類に移行して学校や生徒との関連行事が多くなって来ている。人材の幅を広げられるよう地域の方々に協力をお願いしていく。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済

伝統文化に係る事業

事業名	住吉のたからもの発掘事業		実施年数	5年目												
事業期間	開始：平成31年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち” 重点目標 “地域の歴史や文化財を守り育てる住吉”															
目的 (期待される効果)	地域の伝統芸能を通して住民同士の交流の場を増やす。 伝統芸能保存会の活動を通じて復活した日平俵踊り・麓奴踊りを定着させる。															
事業内容・手段	住吉地区伝統芸能保存会の活動を支援する。 各種のイベントで俵踊りと奴踊りが出来る機会を増やす。 踊りの練習は定期的に行っていて、イベントの前には臨時で練習回数を増やしている。昨年同様、夏まつりと米穂夢収穫祭で踊りを披露した。俵踊りと奴踊り共に宮崎市のPTA研究大会や住吉神社の例大祭にも住吉南小学校児童と一緒に参加して踊りを披露した。俵踊りはその他にも南小のイベントや新名爪の備後池干しにも参加している。															
事業費	25,130円															
対象者	地域住民、小中学生															
参加者数（内訳）	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>4,000人</td><td>1,061人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>120人</td><td>128人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>4,120人</td><td>1,189人</td></tr></table> ※一般参加者は小中学校の児童生徒数と夏まつり参加者、スタッフは伝統芸能保存会踊りの延べ人数を含む				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	4,000人	1,061人	スタッフ	120人	128人	合 計	4,120人	1,189人
年 度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	4,000人	1,061人														
スタッフ	120人	128人														
合 計	4,120人	1,189人														
住民の声（アンケートの結果等）	・俵踊りと奴踊りを見かける機会が多くなった。楽しませてもらっている。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	住吉地区伝統芸能が復活して俵踊りと奴踊りが浸透してきた		広報	⑪事業の周知	A	A	インスタやブログまたまつりのポスターや総合文化祭のポスター等で周知できたまちづくりだよりにも掲載している。
	②住民の参加	A	B	米穂夢の収穫祭や住吉まつりだけでなく地域外の多くの住民にも披露できた		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	学校連携と伝統芸能保存の取り組みは分けることが出来た
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	目標・目的に合致した取り組みである。妥当である			⑦住民の満足度	A	A	俵踊り、奴踊りの復活・披露ができたことで、地域の方は喜ばれている。
	④各種団体との連携	A	A	小学校や宮崎市PTA研究大会とも連携出来た。		事業継続の必要性		⑦有 ・ 無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 発表の場がどんどん増えてきている。それに伴い練習回数も増え取り組みに活気が出てきている。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・)> <意見への対応>							対応	未・済
		<地域協議会からの意見(令和5年3月・事業計画)> 活動内容の見直しにより事業も整理されたので、今後、広く住民が参加できる事業内容に努めてください。 <意見への対応> 住吉のたからもの発掘事業は、伝統芸能保存会の日平俵踊りと麓奴踊りだけにしぼり、それぞれの活動を応援し広く周知し様々なイベントで披露してきた。							対応	未・⑦済

地域再生に係る事業

事業名	住吉夏まつり事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち” ◎地域の結びつきや交流を大切にする住吉 地域住民がともに支え合いふれあいを通した交流が盛んになるように努めます。														
目的 (期待される効果)	地域住民の親睦・交流を深めるとともに、地域の活性化と振興を図ることを目的とする。														
事業内容・手段	住吉夏まつりの開催（住吉商工振興会との共催事業） 今年度はコロナ感染症状況後初めて、定例の8月に開催することが出来た。ステージには、地域の保育園、小中学校及び高校生を優先的にお願いして出演してもらった。 昨年の冬季開催には出来なかった魚のつかみ取りや総踊りも復活して子どもも大人も賑わい楽しんだ。 人出は夏まつり始まって以来最大とも思われる4,500人を上回った。														
事業費	534,476円														
対象者	参加者に制限はない														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>4,500名</td><td>2,613名</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>12名</td><td>13名</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,512名</td><td>2,626名</td></tr></table>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	4,500名	2,613名	スタッフ	12名	13名	合計	4,512名	2,626名
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	4,500名	2,613名													
スタッフ	12名	13名													
合計	4,512名	2,626名													
住民の声（アンケートの結果等）	・やっと恒例の夏まつりが戻って来た、と言う感覚でとても盛り上がった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	地域住民にとっての憩いの場であり、様々な人と交流できる事業である。	広報	⑤ 事業の周知	A	A	まつりのポスター、インスタや公式LINE等で周知
	② 住民の参加	A	A	毎年夏の開催では帰省者も多く参加している。	事業の効果	⑥ 課題解決への作用	A	A	住民の方のニーズも参考にステージや催し物を検討したい
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の方のニーズに合っている事業である。		⑫ 住民の満足度	A	A	恒例となっており地区住民が最も集まるイベントで全世代で満足度が高い
	④ 各種団体との連携	A	A	住吉商工会との連携行事である。	事業継続の必要性			⑦ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 8月開催に戻り、総踊りも実施出来て好評であった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和5年5月・実施報告）> 新型コロナウイルス感染症の状況の影響により12月の開催となりましたが、多くの住民参加があり盛大に開催されました。今後とも、住民参加型イベントの実施によって、地域住民の交流が今まで以上活性化することを期待しております。 <意見への対応> 綱渡りのような事業の実施でしたが、結果は大成功でした。						対応	未・済

[6] 健康づくりに係る事業

事業名	健康づくり事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが元気でお互いを支え合うまち” ◎誰もが参加できる健康づくりのまち住吉 地域住民が気軽に参加できて楽しめるようなイベントとなるよう充実に努めます。														
目的 (期待される効果)	すみよし公園内で「リレーマラソン」を行い、みんなとの交流を深める。また、健康の有難さを感じていただく。														
事業内容・手段	楽しくランラン「リレーマラソン」の開催 ・開催日 11月23日（木）勤労感謝の日 ・内 容 すみよし公園内を周回する。 無理をせず参加者の体力に合ったペースで、楽しく「走る・歩く」の運動を通して、交流すること目的とする。 450メートルの公園内のウォーキングコースをチームでバトンをつなぎ1時間で何周回するかを競った。5チーム49名が参加した。1位のチームは38周の役17km走った。 今年は中学生がボランティアとして4名参加、内2名は選手として参加した。														
事業費	51,137 円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>92人</td><td>73人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>28人</td><td>14人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>120人</td><td>87人</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	92人	73人	スタッフ	28人	14人	合 計	120人	87人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	92人	73人													
スタッフ	28人	14人													
合 計	120人	87人													
住民の声（アンケートの結果等）	・1回目の参加が楽しかったので毎回参加している。（参加者） ・無理なく参加できるし楽しむことが出来る。（参加者） ・見ているだけでも楽しめるけど、参加することで倍楽しめました。（参加者） ・イベントを通して仲間づくり、触れ合えたことが良かったです（参加者）														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	誰でも自由なスタイルで気軽に参加できるので、ニーズはある	広報	⑤事業の周知	B	B	回覧だけでなく、公式LINEやインスタ等で広く地域の方々に参加していただくための周知方法の工夫が必要。
	②住民の参加	B	B	参加者を増やすために幅広い世代に周知する。 方法の工夫は必要	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	誰でも自由に参加できるルールにしている
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	誰もが元気で健康なまちづくりを目指す取り組みである。		⑦住民の満足度	A	A	年代を問わず、老若男女でチームを作り、楽しめる競技で好評であった。
	④各種団体との連携	B	B	公園を利用するスポーツ団体や公民館を利用者への呼びかけ依頼	事業継続の必要性				⑦・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 自治会への回覧だけではなく、公式LINEやインスタで呼びかけたり、各種団体への呼びかけをした。参加人数を増やすには工夫が必要。高校生も対象に呼びかけたい。 バトンをうちわに変更して見やすかった。 スタッフの協力体制が良くなり、各担当の役割が整理されてきている。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未・済
		＜意見への対応＞							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）＞						対応	未・済
		＜意見への対応＞							

地域福祉に係る事業

事業名	元気で、笑顔いっぱい事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが元気でお互いを支え合うまち” ◎誰もが参加できる健康づくりのまち住吉 地域住民が気軽に参加できて楽しめるようなイベントとなるよう充実に努めます。														
目的 (期待される効果)	地域住民の健康増進やひきこもり防止を目指し、多世代の誰もが楽しく触れ合える場づくりを進める。														
事業内容・手段	1) 各自治会・地区に出向いて運動教室やニュースポーツ、レクリエーションを開催する 今年度は18の自治会やサロンからの依頼があり、運動教室を開催した ニュースポーツ用具の楽しみ方等が口コミで広がりつつあり、種類も少しずつ増えて楽しまれている。利用者は年々増加している。														
事業費	74,602円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>248人</td><td>158人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>18人</td><td>13人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>266人</td><td>171人</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	248人	158人	スタッフ	18人	13人	合 計	266人	171人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	248人	158人													
スタッフ	18人	13人													
合 計	266人	171人													
住民の声（アンケートの結果等）	・いろいろなニュースポーツ用具があって楽しめている。（参加者） ・夢中になっていると大きな歓声も出て来て精神的にもリラックス効果がある。（参加者）														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	ニュースポーツ用具貸出の申込がどんどん増えている。それに伴いニーズも高まっている。	広報	⑬事業の周知	A	B	ブログやインスタ、広報誌でも健康体操教室やニュースポーツ用具について広報している
	③住民の参加	A	B	昨年より希望の自治会やサロンが増えて参加者が多くなった	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B	ニュースポーツ用具の貸出は2倍以上に増えている。口コミ以外の周知方法も検討する。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の皆さんの健康維持のためにもまちづくりの取り組みとして妥当		⑦住民の満足度	A	A	参加者は満足されている。
	④各種団体との連携	A	A	地区体育会に日程の調整や講師の選定をお願いしている。	事業継続の必要性				⑦・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ニュースポーツ用具が増えているのでいろいろ試してみることが出来る。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済

[7] 地域再生に係る事業

事業名	情報発信事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 “ みんなが元気でお互いを支え合うまち” ◎地域の結びつきや交流を大切にする住吉 地域住民がまちづくりを介して地域の情報を知り地域に愛着を持っていた だけよう地域の魅力を伝えていく。														
目的 (期待される効果)	地域活動や身近な生活情報を発信し、地域の活性化や地域づくりに役立てることを目的とする。														
事業内容・手段	(1) ホームページ及びインスタグラムでイベント情報や講演会等の事前周知、事後の模様も発信している。 (2) 地縁団体の活動内容紹介や地域づくりの広報活動の推進 ・今年度は住吉地区総合文化祭との共催で米穂夢収穫祭を実施した。 ・12月に自公連主催の文化講演会に共催として参加し、放送設備等の提供や設置を実施した。 (3) 地域の魅力を伝えるカレンダーの作成 (5,500部) 今年度は、住吉小学校1年生～6年生が作成した作品を掲載したカレンダーは1月開始・12月終了にしている。														
事業費	345,101 円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>人</td><td>人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>人</td><td>人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>人</td><td>人</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合 計	人	人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合 計	人	人													
住民の声 (アンケートの結果等)	カレンダーは、小学生の1年生～6年生の作品で成長が伺えるような、個性的な作品が評判良かった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	地域の情報をこまめに発信するようにしている ニーズの把握にも努めている		広報	④ 事業の周知	A	A	インスタやブログのQRコードはまちづくりだよりや各イベントポスターなどにも掲載している
	②住民の参加	B	B	地域の住民からの情報提供があまりないのが現状である		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	まちづくりだよりはスーパーを始め地域の銀行や郵便局等にも配備させてもらっている
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	現状通りの情報発信は継続したい 取り組みとしては妥当である			⑦住民の満足度	B	B	まちづくりだよりは紙面を整理したり、明るい感じにしている
	④各種団体との連携	B	B	地域団体の情報等をインスタやブログに掲載することができた		事業継続の必要性				⑦ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ブログやインスタグラムは事前周知も事後報告にも役に立っている。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未 ・ 済

事業名	広報誌発行事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “みんなが元気でお互いを支え合うまち” ◎地域の結びつきや交流を大切にする住吉 地域住民がまちづくりのイベントや事業内容を知り気軽に楽しく参加できるように進めます。														
目的 (期待される効果)	住吉地域まちづくり推進委員会の事業や地域の活動状況等を発信し、地域住民への周知を図る。														
事業内容・手段	(1) 広報誌の発行 画像などを多く掲載し、明るく分かりやすい紙面にしている 定期発行 6月分(10ページ)発行 3月分(16ページ)発行 発行部数 5,500部 各自治会に全戸配布、また銀行、郵便局、スーパーなどにも置いた。 (2) ブログの更新 各部会の事業報告を受けて、その都度ブログに掲載。														
事業費	434,088円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>25人</td><td>46人</td></tr><tr><td>合計</td><td>25人</td><td>46人</td></tr></table>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者			スタッフ	25人	46人	合計	25人	46人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者															
スタッフ	25人	46人													
合計	25人	46人													
住民の声(アンケートの結果等)	・各事業の紹介に写真が多いので分かり易い ・各部会の部会長・副部会長の顔写真もまちづくりに親しみが持てる。 ・ホームページだけでなくインスタグラムでもまちづくりの事業を知ることができる。														

[5] 地域再生に係る事業

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	まちづくりの活動内容・各種団体の情報を掲載し、ニーズの把握に努めている。		広報	⑤事業の周知	A	A	自治会には全戸配布している。 また、住吉の小中学校の教員及び総合学習の教材としても児童に配布した銀行、スーパー等にも置かせてもらった
	②住民の参加	A	A	自治会や各種団体等に情報提供を依頼している。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	当委員会の活動内容等を見やすく掲載し、事業への理解を得るよう努力している。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	広報誌発行は定着している。活動は事業の紹介や結果報告になくてはならない活動であり、妥当である。			⑦住民の満足度	A	A	発行を楽しみにしている住民もいる。広報誌を見ることにより当委員会活動への参加がある。
	④各種団体との連携	A	A	今年度は公民館を始め各地域団体の紹介を合わせて発行した。地域の自治会も紹介している。		事業継続の必要性			⑦ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 新型コロナウイルスが5類に移行してから多くの事業が再開できた。3月発行の広報誌は様々な写真が掲載できた。 今年度から左綴じに変更した。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>							対応	未 ・ 済

その他の事業

事業名	まちづくり推進事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 “ みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち” ◎地域の人材を生かして育てる住吉 地域の様々な人材を活かし、地域活動のためのリーダーになるように育成に努めます。														
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりを進めるために研修し意識を高める。														
事業内容・手段	(1) まちづくり推進事業に伴う研修を行う。 ・まちづくり講座 (1) 11月27日(金)「地域自治区による住民主体のまちづくり」 講師 田邊陽一氏(地域コミュニティ課)を開催した。 (2) 12月9日(土)「ネットと上手に付き合うために！」 講師 大山沙織氏(産業政策課)を開催した。 ・まちづくり先進地への視察研修 1月20日(土)熊本県 地震被災地 熊本市東区西原公民館 講座 熊本地震ミュージアム「記憶の回廊」視察 (2) まちづくり事業報告会 隔年実施なので今年度は実施しなかった。														
事業費	941,877 円														
対象者	まちづくり推進委員														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>73人</td><td>54人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>11人</td><td>10人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>84人</td><td>64人</td></tr></table>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	73人	54人	スタッフ	11人	10人	合 計	84人	64人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	73人	54人													
スタッフ	11人	10人													
合 計	84人	64人													
住民の声(アンケートの結果等)	・住民主体のまちづくり講座は自治会の加入率の問題や、地域と行政の役割などが分かりやすかった ・ネットの講座は高齢者やネット弱者のために役立つ情報を学べた ・先進地視察は熊本地震のその後の様子を見られた。当時の関係者の講演はこれからの防災に役に立てることが出来る。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	ネット詐欺問題、震災被害・復興は共に現状に合った取り組みで、ニーズが高まっている	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会への回覧文書配布や公式LINE等で呼びかけた
	⑦住民の参加	A	A	今年度は講座2回視察にも住民の参加があった。ニーズに合った講座と視察だった	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	ニーズに合わせた内容で企画していきたい
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	住民のニーズを把握し、現状に合った研修や講座の企画で妥当性は十分ある		⑭住民の満足度	A	A	どの講座も視察もタイムリーで満足してもらえた
	④各種団体との連携	A	A	有意義な講座や研修であれば各種団体と連携し共催も考えたい	事業継続の必要性				⑦・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 今年度はまちづくり講座も開催出来き、研修視察も3年ぶりに実施できた。 講座・研修ともに関心ある内容で役に立てた。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	地域安全見守り隊事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	536,835	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	536,835	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	212,114	ガソリン代 61,466 お茶(研修会用) 6,480 青パト用 お茶・塩あめ 26,490 消耗品代 2,178 見守り隊ジャンパー・ベスト・帽子代 115,500
5	役務費	110,881	任意保険料(12ヶ月) 84,981 行事参加者傷害保険料 25,900
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	213,840	青パト車リース料 213,840
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	536,835	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	地域防災訓練事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	3,540	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	3,540	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	3,540	消耗品代 3,540
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	3,540	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	災害復旧活動支援事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	38,924	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	38,924	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	38,924	炊飯袋1,000枚・保存食ようかん・パン 38,924
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	38,924	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	災害時救援物資整備事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	214,050	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	214,050	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費		
3	旅費	0	
4	需用費	6,050	専用消耗品セットBタイプ(50回分) 6,050 (フィルムロール・専用凝固剤カタメルポリマー・ ウェットティッシュ)
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	208,000	ラップポントレッカー本体アルミシルバー 172,000 ラップポン専用バッテリーBAPHB01JH 36,000
10	積立金	0	
11	合計(B)	214,050	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	子育て支援事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	173,163	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	173,163	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	3,000	看護師謝金 3,000
3	旅費	0	
4	需用費	146,563	チラシ印刷代 61,380 体験コーナー材料代 5,575 かき氷一式 43,677 スタッフ昼食・お茶代 20,985 参加賞 12,551 消耗品代 2,395
5	役務費	2,720	傷害保険、振込手数料 2,720
6	委託料	20,880	交通警備(2名) 5,880 音響装置 15,000
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	173,163	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	住吉ささえ愛事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	49,744	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	49,744	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	0
3	旅費	0	
4	需用費	49,744	チラシ印刷代(文化祭) 49,744
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	49,744	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	すみよしイルミネーション事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	172,212	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	172,212	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	169,222	LED電球代 118,594 消耗品代・材料代 50,628
5	役務費	2,990	振込手数料・送料 2,990
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	172,212	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	高齢者等路を支える生活支援事業 住吉ボランティアセンター「つなぎ」との共催事業
-----	--

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	457,424	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	457,424	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	41,224	ガソリン代 19,000 消耗品代・事務用品 22,224
5	役務費	106,000	電話(つなぎコール・依頼受付・調整) 47,440 保険料(車・ボランティア) 58,560
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	310,200	車リース料 190,200 駐車場代 120,000
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	457,424	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	美しい里づくり事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	24,998	
2	繰越金	0	
3	補助金		
4	負担金		
5	合計(A)	24,998	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	9,070	お茶・虫よけスプレー代 1,122 飲み物・お菓子代 7,948
5	役務費	2,928	傷害保険 2,928
6	委託料	0	
	使用料及び賃借料	13,000	草刈り機リース代(@1,000×13) 13,000
7	原材料費	0	
8	備品購入費	0	
9	積立金	0	
10	合計(B)	24,998	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	花いっぱい事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	477,469	
2	繰越金	220,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	697,469	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	572,469	○花いっぱい運動 コスモス種子代 453,608 播種時元肥料 105,706 消耗品代 13,155
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	125,000	トラクターリース代 125,000 * 燃料代を含む
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	697,469	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	米穂夢事業
-----	-------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	53,651	
2	繰越金	75,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	128,651	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	74,000	農作業謝金 74,000
3	旅費	0	
4	需用費	42,651	苗代 16,000 肥料 9,133 消耗品代 17,518
5	役務費	1,000	傷害保険 1,000
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	11,000	借地料(作業委託費) 11,000
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	128,651	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	互いに認め合い支え合う社会づくり事業
-----	--------------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	1,600	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	1,600	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	1,600	垂れ幕作成代 1,600
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	1,600	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	地域と学校連携事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	79,689	
2	繰越金	0	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	79,689	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	0
3	旅費	0	
4	需用費	79,689	○住吉小学校 76,320 昔の遊びをしよう 芋づくり 消耗品代 米苗、肥料 ○住吉中学校 3,369 住吉を語ろう！ やってみよう！ 消耗品代
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	79,689	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	住吉のたからもの発掘事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	5,130	
2	繰越金	20,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	25,130	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	8,580	伝統芸能保存会 のぼり旗 8,580
5	役務費	4,550	ボランティア保険 4,550
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	12,000	伝統芸能保存会踊り練習会場料 12,000
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	25,130	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	住吉夏まつり事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	364,476	
2	繰越金	170,000	
3	補助金	0	
4	合計(A)	534,476	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	10,000	司会者謝礼 10,000
3	旅費	0	
4	需用費	133,250	弁当代 26,000 ポスター 35,200 チラシ 22,550 抽選券 49,500
5	役務費	25,280	クリーニング代 20,000 半被クリーニング代 5,280
6	委託料	365,946	舞台・やぐら(税込) 231,000 音響装置(税込) 95,744 チラシ折り込み料(3カ所) 39,202
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	534,476	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	健康づくり事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	51,137	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	51,137	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	5,000	謝金 5,000
3	旅費	0	
4	需用費	41,537	○リレーマラソン 弁当代 9,776 お茶代 1,998 景品代 29,763
5	役務費	4,600	傷害保険 4,600
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	51,137	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	元気で笑顔いっぱい事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	44,602	
2	繰越金	30,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	74,602	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	54,000	@3,000×18回 54,000
3	旅費	0	
4	需用費	20,102	○ニュースポーツ用品購入 ボッチャ・ターゲットプレイシート 20,102
5	役務費	500	送金料 500
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	74,602	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	情報発信事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	215,101	
2	繰越金	130,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	345,101	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	299,341	カレンダー作成費5,500部(税込) 259,545 チラシ代(文化祭) 39,796
5	役務費	36,960	回線使用料(@3,080×12) 36,960
6	委託料	8,800	HP制作及び維持管理費 8,800
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	345,101	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	広報誌発行事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	294,088	
2	繰越金	140,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	434,088	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	434,088	広報誌印刷代(5,500部) 税込 6月発行 205,398 3月発行 228,690
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	434,088	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和5年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり推進事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	895,676	
2	繰越金	44,812	
3	災害時積立金取り崩し	815	
4	補助金	0	
5	負担金	0	
6	雑収入	574	
7	合計(A)	941,877	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	手当	188,307	事務局 休日・時間外手当 188,307
2	報償費	0	
3	旅費	210,000	役員旅費 42,000 推進委員活動費 168,000
4	需用費	263,773	○視察 弁当代 18,500 手土産代 2,100 お茶代 2,174 ○消耗品代 226,149 事務用品、インク、紙代 ○総会資料製本代 14,850
5	役務費	97,587	傷害保険 1,000 葉書・切手代 41,118 振込手数料 550 電話代 54,919
6	委託料	182,210	貸切バス料金 182,210
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	941,877	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

(様式第7号)

積立金管理状況報告書

(令和6年3月31日現在)

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

積立金名称	災害積立金
-------	-------

積立金の収支 (単位:円)

番 号	項 目	金 額		備 考
1	前年度までの積立額	217,814	円	
2	取崩額	217,815	円	
3	受取利息	1	円	
4	合 計	0	円	

(様式第 9 号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和 6 年 5 月 2 9 日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字島之内 7 4 1 0 - 1
名 称 住吉地域まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名 会 長 尾崎 浩一朗
電 話 番 号 (0 9 8 5) 3 9 - 7 0 0 4

令和 5 年 3 月 2 9 日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、
決算において 9 5 1 , 7 4 6 円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越します
ので届け出ます。

添 付 書 類

令和 5 年度収支決算書

令和 6 年 5 月 20 日

令和 5 年度 住吉地域まちづくり推進委員会への意見書（事業実施報告）

住吉地域自治区地域協議会
会 長 飯 干 る み 子

令和 5 年度の住吉地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていたので承認いたします。

なお、承認に際し下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いします。

記

1. 総括

令和 5 年度は新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行され、地域における各種団体の活動も再開し、おおむね計画通りに事業実施できたと思います。

住吉が元気で魅力ある地域であり続けるための「地域魅力発信プラン」実現に向け、各部会の意見を踏まえて適切に改善や工夫を行うことが、地域の課題解決、住民参加、未来を担う若者の育成などに繋がります。

今後は、地域自治区制度の終了に伴い、来年度は大きな変化を迎える年となりますが、引き続き住民主体のまちづくりを推進していくにあたり、事業効果が十分に得られるよう一層の改善や工夫をしていただきたいと思います。

2. 事業の推進体制

各部会で十分な意見交換を行い、各種団体と適切に連携を図りながら事業を推進してください。

また、若い世代を含む地域住民の参画が一層促進されるよう、効果的な情報発信についても工夫していただきたいと思います。

3. 各事業への意見

事 業 名	意 見
地域防災訓練事業	防災・減災の意識向上、自主防災連合隊と連携した地域防災ネットワークの構築に繋がる事を期待します。地域住民のだれもが参加しやすいような実施方法や、周知活動の充実についても工夫をお願いします。
住吉夏まつり事業	4 年ぶりに盛大に開催され、多くの地域住民の参加がみられました。今後も住民参加型イベントへの参加を通じ、地域住民の交流が今まで以上に活性化することを期待します。